

設立35周年記念 (県造園協だより第68号)

35年のあゆみ



新潟県造園建設業協会

新潟県造園建設業協会

〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野438番地

電話 025 (282) 4460

F A X 025 (282) 4461

三十五年のあゆみ

目 次

あ い さ つ	会 長 新 保 正 文 ……………	2
	新潟県農林水産部 治山課長 佐 藤 晋 ……………	3
	新潟県職業能力開発協会 会 長 山 口 均 ……………	3
	前会長 大 橋 保 男 ……………	4
	元会長 野 俣 正 之 ……………	5
	元会長 吉 原 茂 富 ……………	6
三十五周年記念表彰者 ……………		7
協 会 の 概 要 ……………		8
組 織 運 営 図 ……………		9
協会のシンボルマーク・スローガン・構成支部・部会の平成20年度事業計画 ……………		10
会員数・事業費等の推移 ……………		11
平成15年～19年のおもな事業 ……………		12
総 務 部 ……………		13
指 導 部 ……………		14
経 営 研 究 部 ……………		15
支部の活動と現況報告 ……………		17

協会設立二十五周年を

迎えるにあたり



会長 新保正文

昭和四十九年四月に、新潟県造園建設業協会が設立され、今年で三十五周年の大きな節目を迎えました。

この間会員の皆様をはじめ、関係機関、団体、行政官庁の多くの御支援、御協力、ご指導を頂き三十五周年の記念式典を開催できます事を大変嬉しく思っております。

私事ではありますが、協会運営に十年間携わり、十年前は吉原茂富会長、六年前からは大橋保男会長の下、総務部一筋に協会運営の一端を担って参りましたが、今年から協会長を務めさせて頂いております。

この間社会情勢は、構造改革が進み郵政民営化、公共工事費の削減など協会会員には厳しい情勢が続いております。このように、経営環境の悪化が続く状況と少子高齢化社会となりつつある現在、会員各社に後継者難が起こり、この事が、会員数の減少に続いている原因の一つになっているのではないのでしょうか。

しかし現在は、環境の時代とも言われており、温暖化現象を今すぐにも食い止めなければならぬギリギリの状況に有ると言われています。単純ではないでしょうが、我々の造園業が今後社会的に注目を集めるものとなって行くと思われまます。

当協会設立の前年から始まりました技能検定では、造園職種の検定主催団体として活動を続け、一・二級合わせ数多くの技能者を有する団体となりました。これも一重に歴代の指導部担当副会長と指導部長を始め関係各位の努力と御協力によるものであり敬意を表します。また新潟県

職業能力開発協会のご指導の下、技能検定が続けてこられた事にも深く感謝しております。六年前には、それまで続いていた二団体による造園職種の技能検定が一本化され、現在は保内造園組合と共同で検定を行なっておる所であります。また冬季講習会では、様々な講習会を実施し会員会社の技術及び知識の向上に努めている所であります。

経営研究部では、佐渡竹きりツアーを四年前から実施し、二年前からは名称を「佐渡竹藪応援隊」として放置された竹林の間伐作業を合わせて実施している所です。

佐渡産の竹を技能検定で使用できないか検討を続けている所でもあります。また共同購入では、中国産の竹を冬囲いの材料として輸入をして会員に安価で規格が一定の材料を提供して来ました。また一日造園大学では、里山での植物観察を行い、観察した植物の名前、その名前の由来、生育環境などを学び仕事に生かしてもらっている所でもあります。

総務部では、研修視察を行なっておりますが、県内を上越、中越、下越の三地域に区分しそれぞれの地域に所属する支部会員の作品を見学する内容になっております。また総会に合わせて行なわれます講演会では、造園以外の話を聞く機会も有り、会員の方々には様々な内容で知識を深めてもらっております。

このように様々な事業を繰り広げて参っておりますが、会員の必要とする事業を今後も推し進めて参りたいと思っております。

会員の減少傾向は続いておりますが、一人でも多くの会員の方々と話ができるようにして参りたいと思っております。その為には、現在の代議員による総会を会員総会として行い、合わせて会員の親睦を図る事を進めて参りたいと思えます。大きな目標に向け、できる事から一歩一歩進めて参ります。評議員の方々とは知恵を絞って、会員の必要としている事、会員の親睦を深める事を目標に今後も協力運営に力を注いで参ります。

創立三十五周年によせて



新潟県農林水産部治山課長

佐藤 晋

新潟県造園建設業協会創立三十五周年誠にめでとございます、心からお祝い申し上げます。

貴協会には、昭和四十九年に設立以来、造園業界の発展と県土の緑化推進などに精力的に取り組まれ、うるおいのある生活環境の維持・保全に多大なるご貢献をいただきましたことに心から感謝申し上げます。次第であります。これもひとえに会員皆様方の熱意とご尽力の賜と心から敬意を表するものであります。

また、日頃から本県の森林・林業行政の推進につきましても、特段のご理解とご協力をいただいておりますことに重ねて厚く御礼申し上げます。

ご案内のとおり、昨年二月には地球温暖化防止への貢献や次世代に美しい緑を守り伝えていくため、「伝えたい木の文化、残したい美しい森林」をキャッチフレーズに、「美しい森林づくり推進国民運動」が始まるなど、森林・緑化に対する国民の期待がますます高まっております。

このような中、県でも山村と都市住民、NPO、そして企業など、県民一体となった森づくりを推進する「にいがた森づくりサポート事業」を創設し、健全な森林の整備や、人と自然が共生する緑豊かな県土づくりを積極的推進してまいりたいと考えております。

また、県内の気候風土に適した広葉樹苗木の確保を図るため、種子採

種源である広葉樹母樹林を指定する等、地域産苗木の生産・普及にも力を入れ事業推進に努めているところでもあります。

三十五年の節目に当たり、本県における今後の緑化推進において、貴協会がこれまで以上に「緑」による健康増進と快適な環境づくりに専念され、広く県民に愛される業界として邁進されますよう、県といたしましても、積極的に支援してまいりたいと考えております。

終わりに、貴協会の益々のご発展並びに会員の皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げお祝いの言葉といたします。

お祝いの言葉



新潟県職業能力開発協会

会長 山口 均

新潟県造園建設業協会の設立三十五周年を迎え、心からお祝いを申し上げます。

また、日頃から私も新潟県職業能力開発協会の業務運営や技能検定制度の実施につきまして深い御理解と御協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

貴協会におかれましては、昭和四十九年三月設立以来、歴代役員及び会員の皆様の強い結束とたゆまぬ努力により、多くの課題に対処され、業界の発展に止まらず広く本県産業界に貢献をしてこられました。その活動に対しまして深甚なる敬意を表します。

皆様御承知の通り、少子化の現象が進む中で若年者の「ものづくり離

れ」「技能離れ」が言われ、また、これまでわが国の産業を支えてきた技能者、特に団塊の世代が順次現役を引退することに伴い、それに続く世代との間に大きな断層が生じ、技能の継承の断絶が懸念されております。

貴協会におかれましては、技能者の養成確保と技能水準の向上に積極的に取り組まれ、特に、国家検定である技能検定の推進につきましては、昭和四十八年の開始以来今日まで、技能検定試験の実施に特段の御協力をいただき、現在、二千百名余の技能士が県内において活躍されており、また、役員の方々及び会員の皆様方の技能検定の重要性に対する深い御理解の賜ものと心からお礼を申し上げます。

当協会といたしましても、今後とも貴協会をはじめ関係各位のますますの御協力をいただき、技能の振興に努めて参る所存でありますので、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会及び会員の皆様方の一層の御発展を祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

会長の任期を振り返って



前会長 大橋 保 男

県造園協のひとつの役割が終わり、会員数も最高二七五名から一一八名減の一五七名になり、経済も悪化の一途でした。

そんな中の船出、私の会社もご多分にもれず最悪の状況。前会長の吉

茂さんが三期六年もやられ、大変だな〜とおもいました。

私に白羽の矢が向けられ、いままでの役員さんの御苦労と御礼から会長を受ける決意をしたしだいでした。しかし次の退任時、同じ悲劇はしたくないと考え、定款組織変えの整える条件付きで受けました。

会長の選び方、顧問制度の導入、入会金、賛助会員の見直し減額、評議員会議の進め方、改革、出席役員の発言の場意識の向上を進めてまいりました。

協会の目的に、技術の向上、社会的地位の拡大、会員の親睦の基本的事業計画を掲げ、会員の加入メリットを前面に出しました。竹の共同購入、ビデオの配布、キッド、パソコンなど各種研修、教室の開催、一日造園大学、竹きりツアー、協会ステッカーの配布、インターネット、ホームページの開催、ゴミ環境部会の立ち上げ、アンケートの集計、等々、まさに会員参加役立つ企画を実施してまいりました。

ガーデニングの言葉も流行りました。会長の任務の中に、県の緑化推進協議会、能力開発協会等各種会議の参加、みどりのネットワーク同業者の連携、全国植樹祭、育樹祭の出席もありました。二度の地元大地震、月岡足湯整備の企画研修、式典参加も……いろいろなことが思い出されます。あつという間の六年間の月日、でも今任期が終わりホッとしています。皆さんに支えられ、本当にありがとうございました。これからは一会員として参加したいと思えます。

昨年は長男も我社に入り、今年結婚式も終え後継者ができました。七月に還暦をむかえ、また新たな目標に向かって動き出したと思っています。協会の発展と皆様の活躍をお祈りして退任の挨拶とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

設立三十五周年

おめでとぅういざいます



元会長 野 俣 正 之

「光陰矢の如」と云う言葉がありますが、正に文字通り早いものでもう三十五周年を迎え感慨無量であります。

当時は業界らしきものもなく入札も年に数回という状態でした。たまたま鳥屋野方面に、当時としては大型物件が出て、(株)長生園、(株)要松園、佐長園、牛歩園緑化(株)と四社が指名になったのですが、佐長園が辞退し、三者の入札となり、(株)要松園が落札しました。今後も大型物件の入札が予想されることから、私の方から組合を作つたらと提案したところ、両者とも機が熟していたのか、割と早く組合を作ることに意気投合して当時十八社位でまとまり、初代組合長に(株)長生園に就任してもらいました。時を同じくして全国組織である「日本造園緑地組合連合会」が、四十六年一月に関東甲信越支部を作り、新潟も早速仲間入りをすることにしたのです。これには、(株)長生園の「間 勝」氏が千葉大学の造園科を卒業されていた関係で、東京に数社知人がいたため簡単に入会出来ました。が、今でも忘れる事はできません。

しかし、新潟もある仕入問題で、協同組合を作り協同仕入をやるとういう話が急浮上したため、一部会員より猛反対があり、組合解散という事になり一旦解散をし、協同仕入を目的としない組合として、即発足したのが今日の組合の基礎であります。

昭和三十九年の国体の関係だったと思いますが、新潟駅前の街路樹の

共同工事、新潟地震後の県民会館の造園工事の共同施工で大成功したのですが、その後全国植樹祭が新潟で開催され、その一環の仕事としてお手播の床の工事がありましたが、失敗し三社が退会したように記憶しております。

そのため(株)長生園、(株)新潟造園土木、牛歩園緑化(株)の三社で、現地(朝日村の県立林業試験場内)に作る事になり、現場代理人三人が現地に泊り込みで作業にあたり無事完成したように覚えております。

この植樹祭は、なんとか無事に終えることができましたがこれには県庁内に初めてできた「緑化係」の係長樋口氏(女優の樋口可奈子の父親)の努力のお陰と今でも感謝の気持ちでおります。

昭和四十八年頃より公共工事が多くなり、国も昔の植木屋でなく幅広い技術者育成の必要にせまられ、国家資格としての造園技能士制度に取りかかり急にその輪が広まりました。

あわてて私も東京神代寺植物園での講習会にも参加し、新潟も全国に遅れを取ることなく第一回目の後期から受検することができました事を心から喜んでおります。

造園技能検定試験のため急ぎ全県下に組織を作るべく、樋口氏の力をおかりして県下に十支部を作ることができました。

おかげをもちまして曲がりなりにも今日の業界がありますことは、三十五年の間の各地区の役員の皆様、会員の皆様のお陰と心から感謝申し上げます。

協会設立三十五周年に寄せて



元会長 吉原 茂 富

新潟県造園建設業協会が昭和四十九年に結成されて、三十五年の永きに亘って新潟県の緑化産業の発展と地球温暖化の抑制に貢献されてこられたことに心から感謝とお祝を申し上げます。これも会長をはじめ、役員並びに会員の皆様の協力と努力の賜もので協会が長い間、活動してこられたものと思っております。私は平成八年から十三年まで三期六年を協会長として務めさせて頂きました。その中で印象に残ったことは、日本造園組合連合会新潟県支部と県造協の合同で、平成十一年六月十九日から二十三日まで四泊五日の日程で中国雲南省昆明市で開催されました世界園芸博覧会の視察と、同じ年の九月二十一日から二十七日までの六泊七日でアメリカのオレゴン州ポートランド市街地のローズガーデンのバラ園と日本庭園の視察でした。また、靴やゴルフ用品でお馴染みのナイキ本社も訪れました。三日目の午後からポートランド空港からカナダのバンクーバーへ飛行機で移動しました。カナダではバスやフェリーに乗り、ビクトリアに向かうブッチャートガーデンを視察しました。これらの視察は当協会員であり、私の時の副会長を務めて頂いた土沼氏から企画して頂きまして大変勉強になりました。ステーキのレストランで御招待を受け、革靴の様な大きなステーキを出され、大変美味しかったが我々日本人は全部食べられず、残した方が多かったです。また、中国雲南省昆明市で開催された世界園芸博覧会では色々な花や植物を見ることができました。会場では、チベット族やモンゴル人の方達が民族衣装を

着て視察していたのが印象深かったです。次の日は昆明市の石林を視察しました。畑の中や樹木の中の至る所に巨大な石の柱が林のごとく立ちそびえ、自然の壮大さを肌で感じた所でもあります。私は時々海外視察研修をしています。今迄に十五ヶ国以上行っています。先日タイのバンコクに行つて来ました。これで二回目ですが、本やテレビで見ると自分で行つて風俗や習慣を体で感じ取ることが自分を生長させることだと思つていきます。韓国は八回も行きました。何回行つてもまた新しい発見があります。私は今年七十才になりました。しかし毎日現場に出て汗を流しています。時々ライオンズクラブの夜間例会に出て、帰りに殿町（飲食街）に寄つてカラオケを歌つてストレスを解消し、また働き百才まで生きようと頑張つています。県造協も時には海外研修をしてはどうでしょうか。毎月積立をして海外の緑化フェアー等を視察してはどうでしょうか。取り留めのない話になりましたが、改めて設立三十五周年記念おめでとうございます。

アメリカ・ポートランド日本庭園視察



アメリカ・カナダ造園研修の旅

中国・雲南省昆明・世界園芸博覧会研修



昆明市内・石林視察

□ 35周年記念表彰受賞者

【功労者 2名】

氏名	会社名	支部名
大橋保男	(有)グリーンランドエデン	新津
野俣正之	牛歩園緑化(株)	新潟

【造園工事作業技能競技大会成績優秀者 3名】

年度	級別	氏名	会社名	支部名
平成17	1級	井上一重	(株)宝グリーン	長岡
平成17	2級	長澤政廣	(株)長竹園	上越
平成19	2級	鈴木顕治	(株)鈴木造園	長岡

【永年勤続者（同一事業所15年以上勤務、他の模範者） 13名】

氏名	会社名	勤続年数	支部名
真船紀夫	後藤石水造園(株)	24	新潟
宮沢敏雄	(株)要松園コーポレーション	26	新潟
中野吉晴	内山造園	33	三条
坂詰正巳	(株)鈴木造園	17	長岡
鈴木正	(株)鈴木造園	31	長岡
星野安雄	(株)渡辺農園	33	魚沼
栃堀日出雄	(有)五十嵐造園	24	柏崎
有坂昌二郎	(株)池忠造園	20	柏崎
江藤博文	(株)池忠造園	25	柏崎
古川紀男	(株)青花園	29	上越
長澤哲男	(株)長竹園	27	上越
笠原荘一	(株)長竹園	29	上越
吉田保	(有)加藤造園	42	上越

□ 協会の概要

名 称	新潟県造園建設業協会
設立年月日	昭和49年3月23日
代 表 者	会長 新 保 正 文
目 的	本会は、造園技能者の技能、技術および知識の向上、社会的、経済的、地域的な造園事業の健全な発展をはかり、生活環境整備促進と緑化事業の推進等に寄与することを目的とする。
事 業	<ol style="list-style-type: none"> 1. 緑化事業の推進、緑化意識の高揚と啓蒙 2. 造園に関する情報、資料の収集交換 3. 造園技術者の技術および知識の向上を図るための調査研究 4. 講習会の開催 5. 造園業に係る経営の合理化に関する調査研究 6. 関係諸団体との情報交換、連絡提携 7. 会報、機関紙等の発行 8. その他前条の目的を達成するために必要な事業
会員の資格	<p>正 会 員 新潟県内において造園業を営み、本会の目的に賛同し入会した者</p> <p>賛助会員 本会の目的に賛同する個人および団体</p> <p>名誉会員 本会に功労のあった者又は学識経験者で総会において推薦された者</p>



Data Souken Niigata

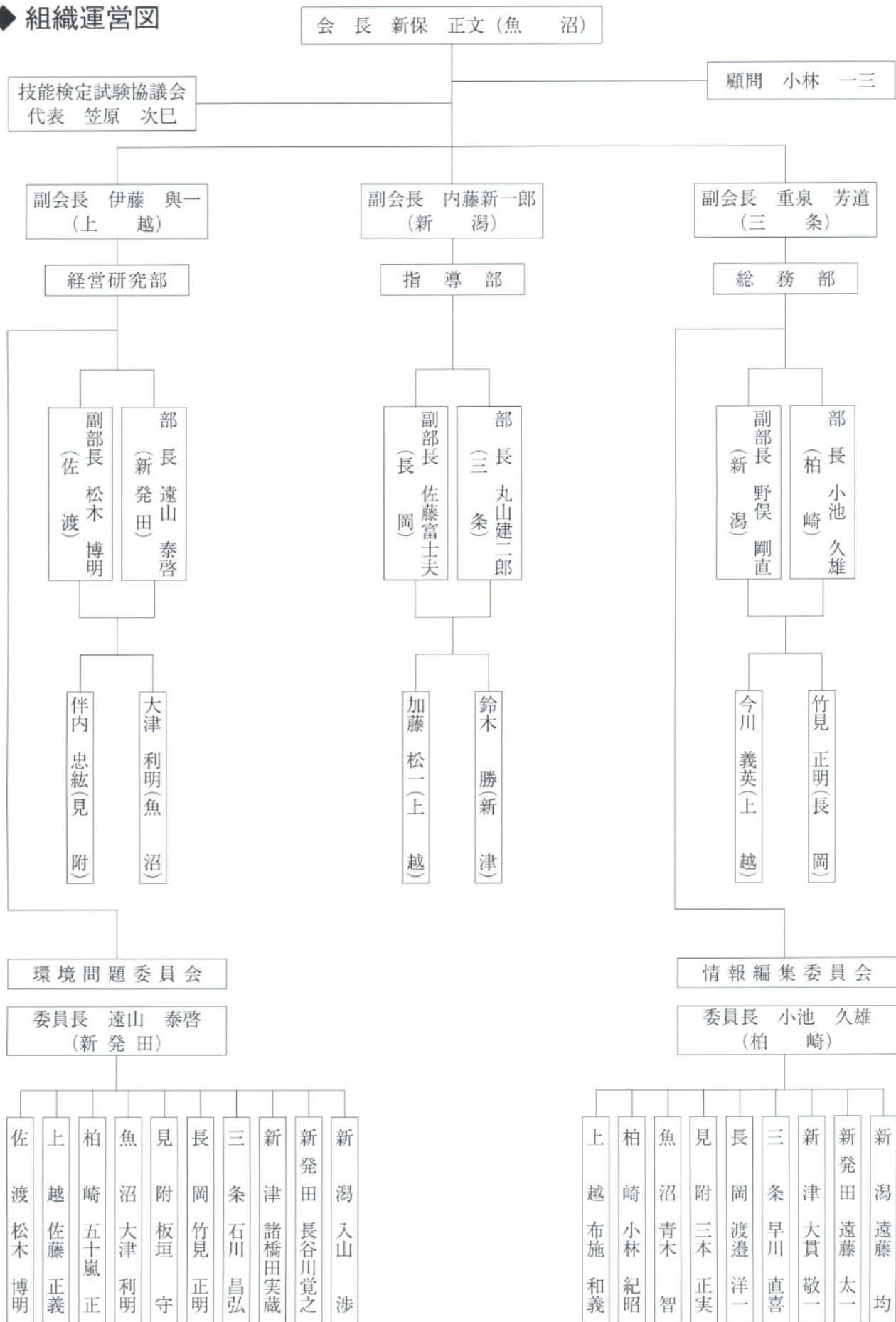
IT Best Solution Partner

株式会社 データ総研新潟

URL <http://www.datasouken-niigata.com/>

〒950-0965新潟県新潟市中央区新光町5番地1千歳ビル7階C
TEL:025-281-8080/FAX:025-284-0830/IPTEL:050-5502-6360

◆ 組織運営図



協会スローガン

1. 造園の技術技能の向上を図り、社会的要望に応えよう。
2. 造園業経営の体質改善を図り、業界の自主性を社会的に確立しよう。
3. 組織の強化を図り、活力ある造園業界を育てよう。

構成支部（会員数 128社）

支部名	会員数	会社名	支部長名	役職名
新 潟	15	新 生 園	内 藤 新 一 郎	副 会 長
新 発 田	4	(有) 遠 山 造 園	遠 山 泰 啓	経営研究部長
新 津	12	(有) 勝 樹 園	鈴 木 勝	
三 条	22	松 泉 園	重 泉 芳 道	副 会 長
見 附	5	伴 内 造 園	伴 内 忠 紘	
長 岡	22	竹 見 造 園	竹 見 正 明	
魚 沼	10	(有) 東 建 興	青 木 智	
柏 崎	8	(有) 小 池 造 園	小 池 久 雄	総 務 部 長
上 越	23	伊 藤 造 園	伊 藤 與 一	副 会 長
佐 渡	7	(有) 松 木 園 芸	松 木 博 明	

部会の平成20年度事業計画

- | | | |
|-------|----------------------------|----------------------------------|
| 総 務 部 | ・ 総会、講演会の開催
・ ホームページの充実 | ・ 研修視察（新発田支部担当）
・ 造園協だより年2回発行 |
| 指 導 部 | ・ 技能検定予備講習会 | ・ 冬期講習会の実施 |
| 経営研究部 | ・ 造園ビデオの配布
・ 竹切ツアーの実施 | ・ 一日造園大学の実施
・ 樹木の物価本の発行 |

□ 会員数、事業費等の推移

年度	会員数	年間予算額	年会費	会長名	副会長名		
					総務部	指導部	経営研究部
昭49	177名	2,570,000円	6,000円	出雲 慶一	坂井 輝吉	斉藤 孝一	野俣 正之
昭50	192名	2,777,500円	12,000円	〃	〃	〃	〃
昭51	230名	4,619,882円	14,400円	〃	〃	〃	〃
昭52	256名	7,510,000円	18,000円	霜鳥 節三	〃	〃	〃
昭53	265名	10,818,000円	18,000円	〃	〃	〃	〃
昭54	275名	8,883,000円	18,000円	〃	佐藤平三郎	〃	〃
昭55	274名	9,350,000円	18,000円	〃	〃	〃	間 忠明
昭56	270名	8,590,000円	18,000円	〃	〃	〃	〃
昭57	264名	8,580,000円	18,000円	間 忠明	〃	〃	川崎 甲英
昭58	263名	8,500,000円	18,000円	〃	〃	〃	〃
昭59	258名	8,620,000円	18,000円	〃	〃	江口 修治	〃
昭60	245名	9,110,000円	24,000円	〃	〃	〃	〃
昭61	233名	9,772,000円	24,000円	野俣 正之	室橋 二郎	〃	竹内 嘉造
昭62	228名	8,848,000円	24,000円	〃	〃	〃	〃
昭63	221名	7,489,000円	24,000円	室橋 二郎	竹内 嘉造	〃	荒井 隆
平成	217名	7,480,000円	30,000円	〃	〃	〃	〃
平 2	214名	8,250,000円	30,000円	江口 修治	北条小太郎	野瀬 林蔵	〃
平 3	207名	8,507,000円	30,000円	〃	〃	〃	〃
平 4	201名	7,320,000円	30,000円	〃	〃	伴内 忠紘	畠山 富夫
平 5	200名	7,290,000円	30,000円	〃	〃	〃	〃
平 6	193名	7,220,000円	30,000円	〃	〃	尾身 幸雄	〃
平 7	192名	6,840,000円	30,000円	〃	〃	〃	〃
平 8	190名	5,830,000円	30,000円	吉原 茂富	土沼 隆雄	〃	北条小太郎
平 9	189名	7,820,000円	30,000円	〃	〃	〃	〃
平10	183名	8,654,000円	30,000円	〃	〃	〃	〃
平11	168名	5,630,000円	30,000円	〃	〃	〃	〃
平12	160名	5,870,000円	30,000円	〃	島宗誠一郎	伊藤 春男	長谷川覚之
平13	160名	5,740,000円	30,000円	〃	〃	〃	〃
平14	157名	6,160,000円	30,000円	大橋 保男	新保 正文	〃	〃
平15	152名	7,400,000円	30,000円	〃	〃	〃	〃
平16	144名	5,310,000円	30,000円	〃	〃	〃	内藤新一郎
平17	141名	5,677,000円	30,000円	〃	〃	内藤新一郎	平山 正利
平18	139名	5,415,000円	30,000円	〃	〃	〃	〃
平19	135名	5,150,000円	30,000円	〃	〃	〃	〃
平20	129名	5,830,000円	30,000円	新保 正文	志賀 孝 重泉 芳道	〃	伊藤 與一

各年12月末日現在

平成20年は9月末日現在

平成十五年～十九年のおもな事業

年月日	記 事	年月日	記 事
冬期講習会 平成15・2・26	石積(野面積)実技講習会 七十名 上越地域職業訓練センター	研修視察 平成15・11・9～10	魚沼支部 佐渡支部
16・3・12	花の庭 ガーディング講習会 十七名 ハイブ長岡	16・10・16～17	柏崎支部 二十二名
17・2・25	お客様への提案・プレゼンテーション ション技術向上研修会 二十四名 ハイブ長岡	17・10・18～19	長岡支部 二十八名
18・2・21	雪吊りの飾り結び 三十一名 協会	19・10・5～6	新潟支部 二十七名
22	ワイヤーロープ及びロープのヘビグチ作り 十五名 協会	19・9・16	新潟 技能五輪 男結び
19・3・24	豆砂利・小石の洗い出し 四十四名 新潟地域職業訓練センター	15・10・25～26	新潟 流れのある日本庭園
佐渡竹切りツアー 16・2・20	十七名	18・10・8	上越 レンガの並べ方・取扱
16・10・16～17	十三名	16・9・26	長岡 レンガの並べ方・取扱
19・3・3～4	二十名	15・10・24～27	新潟県 当協会より五名出場
一日造園大学 15・9	巻 角田山	16・10・22～25	岩手県 四名
16・5・1	胎内 角田山	17・10・28～31	山口県 一名
17・6・5	下田村 光明山 十三名	年末評議員・監事会議 15・12・7～8	新潟支部 岩室 松屋旅館
18・6・3	巻 角田山 十六名	16・12・5～6	新発田支部 月岡 清風園
19・4・19	小千谷市 山寺山 十四名	17・12・4～5	上越支部 赤倉 遠間旅館
全国植樹祭 15・5・18	千葉県木更津市「かずさアカデミアパーク」	18・12・3～4	魚沼支部 湯沢 N A S P A ニューオーターニ
18・5・20～21	岐阜県下呂市	19・12・2～3	柏崎支部 柏崎 岬館
19・6・23～24	北海道苫小牧市		

《総務部》

総務部を終えて

前総務部長 福地 一光

当協会に入会して何年経ったか定かではありませんが、いろいろな役をさせていただきました。なかでも総務部長から始まり、副部長、部長と役をさせて頂いた数年間が、私にとって一番実りのある期間でした。役得なのでしょうが、たくさんの方々との出会い、たくさんの経験をさせて頂きました。話せばきりがないほどです。これが何も役をしない一協会員では、今の私は無かったです。

新潟県造園建設業協会の会員、北から南から知り合う事ができた事が一番の財産になりました。お金では買えない「人との出会い」と言うのが有りました。そもそも以前から「人との出会い」とは、大切な事と私の中で位置づけをしておりましたから本当に有りがたい事でした。

総務部長として会員の皆様に役

立ったか分かりませんが、自分としてはできる限りの事をやらせて頂きました。研修視察では以前行われていた県外研修から、県内研修に移行し、会員の作品を見学する形で行なっています。

委員の作品を見る事で、多くの会員と接し親睦を深める事ができたのではないのでしょうか。総会では、講演会を行ない、造園とは違う分野の方々の話を聞く事ができました。異分野ではありますが、造園と何らかの繋がりがあるように思います。このような話を聞けた事も「人との出会い」につながったと思っております。

会員の皆様方も機会がありましたら、ぜひとも活動に参加される事をお勧めいたします。役を離れる事になりますが、これからも協会の各種活動に参加して行きたいと思っております。

緑化用培養土

リサイクル商品シリーズ

【商品】	【用途】
ベストソイルP 1、2号	……ポット・プランター用
ベストソイルS	……植栽用（現場土と混合）
ベストソイルF	……吹き付・緑化基盤材
モミライト	……モミガラ堆肥・土壌改良材
リサイクルマルチ	……マルチング資材

製造元



株式会社 ホーネンアグリ

〒949-5414 新潟県長岡市飯塚1986番地
TEL (0258) 92-3890(代)
FAX (0258) 92-3350

豊かな経験 確かな技術 人にやさしい環境づくりをお手伝い

工事部/個人庭園、民間・公共造園工事 販売部/盆栽・プランターの植込・造園材料の販売
維持管理部/個人造園・民間・公共緑地の維持管理、植木の剪定・除草・病虫害の駆除



株式会社 青 花 園

〒943-0892 新潟県上越市寺町1-7-4 TEL 025-523-4939 FAX 025-525-6803

《指導部》

前指導部長 笠原 次巳

新潟県造園建設業協会設立三十五周年を迎えられ心からお祝い申し上げます。

指導部の活動内容としましては、
一、一・二級 技能検定の開催
二、技能（冬期）講習会の開催
の二つの行事が挙げられます。

技能検定につきましては、会場が新潟県花卉流通センターから三条市保内工場団地に変更になり初



講習内容は次のとおりです

平成十五年度

花の庭 ガーデニング 講習会
十七名

平成十六年度

お客様への提案・プレゼンテーション
技術向上研修会
二十四名

平成十七年度

ワイヤーロープ・雪吊り
講習会 三十一名



めでの会場のため会場内の雑草の処理・水源・トイレと設営に大変苦勞をいたしました。
造園技能検定は、毎年一五〇名程の方が受験をして五〇%程の合格者が出ています。
合格者の方の造園業界でのご活躍を期待しています。
次に技能講習会（冬期講習会）ですが会員の要望を取入れて開催いたしました。

お部屋に花を お庭に緑を 花と緑の総合センター

(株) 橋本園芸

草花・観葉・植木・盆栽・植木鉢
貸鉢・園芸資材・農薬・造園設計・施工

上越市市野江 ☎ 025-524-3601・525-4802 FAX 025-522-1881

平成十八年度

洗出し 講習会 四十六名

平成十九年度

パソコン（CAD）講習会

三十名（パソコン台数の関係）

の講習会を開催いたしました徐々に講習会参加者も増えてきています。これは会員の皆様の要望を取り入れたためではないかと思えます。

これからもその時々にあつた技能講習会を開催してまいりたいと思いますので会員のご参加を期待しております。

《経営研究部》

経営研究部の四年間

前経営研究部長 榎 明義

佐渡支部長を四年間務め、評議員として協会運営に携わってきました。経営研究部に所属し、最後の二年間は部長を務めさせて頂きました。経営研究部で行なっ

る「佐渡竹きりツアー」の事業の舞台が佐渡と言う事で部長を仰せつかった次第です。

経営研究部では、佐渡竹きりツアー、竹の共同購入、造園ビデオの配布、一日造園大学、環境問題委員会など様々な事業を行なっています。

佐渡竹きりツアーは、前会長の大橋保男さんと当時の経営研究部長の布施弘毅さんのお二人で始めたもので、下見を含め、佐渡支部で全面協力をさせて頂いております。当初は、垣根用の唐竹を自分たちで切つて使いたいと言う思いで始めたものです。冬期間で仕事が暇な時期に行い、若手社員の研修も含めて行なわれました。二年間は竹を切り出し、持ち帰りしました。また囲い用に使いたいと言う意見もあり、竹の共同購入も合わせて行った事もありましたが、竹を切り出す職人が少なくなった事、佐渡で竹の切り出しが少なくなったために三寸竹が少なくなり、太い竹が多く生えている事情など、一回限りで終り、共同購入は、中

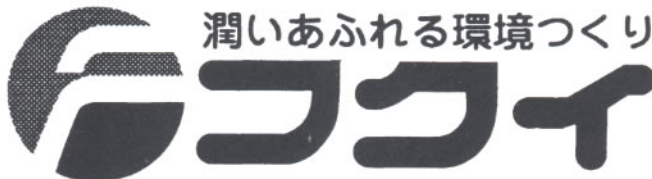


国産竹に戻りました。佐渡では竹林の荒廃が進み、枯れた竹が多く、竹林の中に入つて行けないものが多く、竹林の整理をしてからでないと竹を切り出せない状況のため、二年前から「竹やぶ応援隊」として活動を行なっております。今後もお続けて行つて頂きたいと思っております。

竹の共同購入では、中国産の二寸、三寸、四寸の竹を冬囲いに合わせ、安価で規格の一定な材料を

環境緑化、造園資材卸販売

潤いあふれる環境づくり



福井陶器建材株式会社

新 潟 新潟市西区流通センター2-2-2

TEL 025-260-5455 FAX 025-260-0638

営業品目

- ・塩ビ竹材・エパー竹垣・アルミ製品
- ・土壌改良材・庭・公園資材
- ・竹材・杭木・支柱材（地下支柱）
- ・石材・灯籠・飛石・玉砂利
- ・門・塀・エクステリア製品販売、施工

新 発 田 新潟市富塚町2-1-29

TEL 0254-24-1135 FAX 0254-23-5481



提供させて頂いております。

コンテナ輸入のため大橋前会長には大変お世話になっております。今後は竹以外の材料に付いても検討を重ね共同購入に幅が出てくる事を期待しております。

造園ビデオの配布では、一、二級の技能検定のビデオの他、造園の技法に関する内容のビデオを配布して来しました。

現在の若手社員には大変参考になるものと思っております。

一日造園大学では、里山の植物を観察し、その名前と由来、生育環境などを植物の専門家から学んでいます。

四年間ではありましたが、微力ながら協会運営を無事行なえた事に評議員皆様の御協力に感謝を致します。また、佐渡に多くの会員が訪れて、佐渡支部会員との交流、親睦を深められたと思います。今後もよろしくお願ひします。

樹木・造園緑化

ISO9001:2000
認証取得

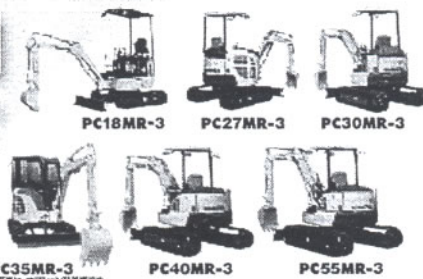


石川緑樹株式会社

本社 〒950-2023 新潟市西区小新1305番地
TEL (025) 267-5588(代) FAX (025) 233-3750
E-mail: ryokujyu@helen.ocn.ne.jp
http://www5.ocn.ne.jp/~ryokujyu/

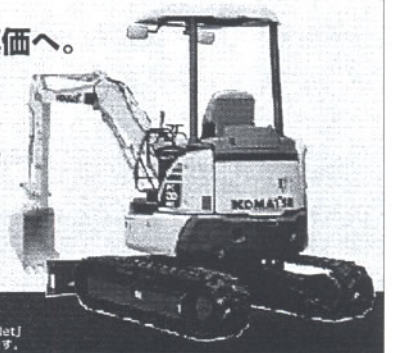
西蒲営業所 〒953-0015 新潟市西蒲区松野尾宇原畑3530
TEL (0256) 77-2130 FAX (0256) 77-2587

地元造園
建設業を
力強く
サポート



進化はいま、真価へ。

情報発信ミニショベル
MR-3
PC18MR-3 / PC27MR-3
PC30MR-3 / PC35MR-3
PC40MR-3 / PC55MR-3
特定特種自動車輸出ガス駆動適合車
KOMTRAX



KOMTRAX ミニショベル
KOMTRAX
KOMTRAX
KOMTRAX

いつでも機種の状況が把握でき、車両管理業務の効率化が図れます。
ITによる車両管理システムKOMTRAX(コムトラックス)を標準装備。コマツ会員制ホームページ「E-KOMATSU.Net」(イーコマツネット)で、車両の位置・稼働状況などを別科でご覧いただくことができ、車両管理業務の効率化を図ります。

KOMATSU コマツ新潟株式会社 〒950-1185 新潟市西区山田2307 TEL 025-233-7731 FAX 025-231-4541 URL http://www.e-komatsu.com/niigata/

□支部の活動と現況報告

《新潟支部》

情報編集委員 遠藤 均

新潟県造園建設業協会が発足して三十五周年を迎えましてお祝いを申し上げます。

新潟支部の活動については、協会スローガン「技術の向上」、「社会貢献」、「業界発展」の三つのスローガンに即した形で活動しています。具体的には、年初めの新年会、そして通常総会で意見の交換を行い、有意義な活動の展開を目指してきています。

庭園実技講習会と称して、一般の方々を対象に年四、五回樹木の剪定や冬囲い等の講習会を行っています。三社の代表講師と二十人前後の一般の方々とレベルに合わせたグループを作り、半日もしくはまる一日をかけて、基本技術から応用テクニックまでを講習しています。

ここ数年前から夏には親睦を深める納涼会を行っています。ただ

の飲み会と言ってしまえば、それまでですが、年三回、飲みながらの情報交換も有意義なものです。

新潟支部も年々会員数が減少して来ている為、活動資金がギリギリではありますが、技術・技能の向上・支部活動の活発化・本部活動への助言と支援を目的に活動しているところです。

《新発田支部》

支部長 遠山 泰啓

新潟県造園建設業協会三十五周年の節目を迎えられたことに、会員各位の協会へのご尽力とたゆまざる努力の賜物と思います。新発田支部の会員も年々の減少で活発な支部活動も出来ず自分の能力の無さを痛感しています。大きな転換期を迎えていると思いつつも少数精鋭で互いに協力し合い前向きに考えていきたいと思えます。

今年度の研修視察地は新発田支部の担当で多数の参加を目標に意

義のある内容設定と懇親を一層深めたいと考えています。ここで一つ城下町新発田の名園「清水園」を紹介します。江戸時代、幕府茶道方の縣宗知の指南の下で造営されました。近江八景を取り入れた回遊式庭園であり、二〇〇三年より国指定名勝で、清水園のあるコケ庭は全国に誇れる美しいものです。

さて造園業界を取り巻く環境も刻々と移り変わりこの先不安はありますが、人（お客様）の心の奥底は、自然の恵みと、自然の美しさを求めて止まないものと信じ、その限られた空間の中に作り出す造園家にとって技能を蓄え多様化するニーズに応じて庭作りに専念して、造園協会と共に設立三十五周年を迎えたいと思えます。

造園資材卸
有限会社
代表取締役

渡辺 弘 翠 園

渡辺 淳一

〒950-3306

新潟県新潟市北区内島見2583-2

TEL: 025-386-6111

FAX: 025-387-4075

E-MAIL: kousuien@cc.wakwak.com

《新津支部》

新津支部長 鈴木 勝

この度、新潟県造園建設業協会の三十五周年を迎えられました事は、私達会員と致しまして大変御目度く、心よりお祝い申し上げます。三十五周年の長き歴史を考える時に、諸先輩方々の英知と強い指導力の元、又会員の皆様方の団結力の元に、このすばらしい三十五周年を迎える事が出来ました事を大変感銘致して居ります。

さて、今年度より新津支部長と言う重責を預かり数ヶ月が過ぎました。造園協会主催の様々な行事やイベントに参加させて頂き、大変有意義な活動内容に接し感謝申し上げます。我が新津支部と致しまして、今後どの様な活動が、会員の間で有意義かつ、地域発展の一助と成り得るか今後の大きな課題であると考えて居ります。

又、時代も変わり造園業界もきびしい現状続きの昨今では有りませんが、会員同志共に継続発展する為に意見交換や、見識を深める活

動を目指す事が我が支部の最重要課題で有ると考えて居ります。

今後、皆様方の御指導のもと、良き活動を進めて参りたいと思えます。

協会におかれましては益々の御発展と、強いリーダーシップを期待し、三十五周年の御祝いを心よりお慶び申し上げます。

《三条支部》

支部長 重泉 芳道

長きに渡り多くの有能な造園技能者を生み育て、また色々な角度から造園について考えてきた県造協の功績は多大なものと感じております。曲がりなのにも会員の一人として参加させて頂いたことを感謝し、また庭師として今あるのは県造協で多くの技術を学んで来たおかげと思っております。あらためて三十五周年を迎えたお慶を申し上げます、今後の活動にもご期待をし微力ながら協力して行きたいと思っております。

三条支部も記念事業として保内



「散策の記念植栽」

公園を中心とした保内地区の山の散策と植物調査を行ないました。一般雑木の他にモミノキ、イタヤカエデ、モミジバフウなど多種にわたる植生であることが確認されました。また散策記念として保内公園にナツツバキ、アオハダ、シヤクナゲなどの植樹を行いました。今後も支部会員の方から積極的に参加してもらえらる計画を立てて行きたいと思っております。

高級庭木販売

銘庭管理

〈木漏れ日の庭〉

松 泉 園

〒955-0021 新潟県三条市下保内1086-2
電話(0256)38-8501

《見附支部》

支部長 伴内 忠祐

このたび、新潟県造園建設業協会が、三十五周年を迎えることとなり、心よりお祝い申し上げます。

振り返れば、昭和四十九年から現在に至るまでの道のりは、いろいろな意味で、会員の皆様と、役員・事務局・外部からの協力によるものであります。目標を持って、「技術の向上」「業界の発展」「社会貢献」と一括した、流れの中、協会も支部も、活動を続けて来ました。

近年我支部に於いても活動が低迷して来たように思います。

その原因については幾つか思い当ることが有ります。数年前から続く地方産業の低下による破綻が進み、造園業界にも大きな打撃となり、経済的な影響を及ぼすようになりしました。そんな中であって、一般市民は、庭などに心が薄く、庭木を伐採して、駐車場等作り、「車社会の到来」と言った所であります。

産業の低迷により、生れて来た、人材シルバーセンターの進出により、造園業界にも大きな打撃となっております。

追打ちを賭けるように、後継者問題も大きな悩みの種であり、廃業をまぬがれぬ現実で有ります。

そんな中であって、中越地震、中越沖地震の体験は、我々造園業界に取っても、かぞえきれないほどの破損と経済的な損失、精神的な不安感をもたらしました。

何としても復興し、復活させ今迄以上に堅固な庭作りが求められることと思えます。

これからは、いかに造園組合の活動を進めて行くか、現実をみきわめながら、新たな道を切り開いて行くことこそが、我が造園組合にあたえられた課題であると思えます。

我が支部に於ても、造園活動を盛り上げるよう努力して行きたい。そのためには、おたがいの、話し合いを大切に、共に「生き貫く」を目標に、お互い知恵を出し合い進んで行きたいと思えます。

新潟県内最大級(4,000坪)ガーデンセンター

お気軽にご利用、ご連絡下さい。



●草花、宿根草
●雑木、大型樹木

●世界の陶器、園芸資材全般
●肥料、農薬、プランター、金物

●その他

グリーンランド エデン



新潟市中央区姥ヶ山381-1
TEL (025) 286-6457 FAX (025) 287-1876
Eメール・アドレス oohashi@g-eden.co.jp
ホームページ http://www.g-eden.co.jp



携帯ホームページ



お買い得情報、
メール会員募集

総合緑化・資材

造園・緑化コンサルタント

株式会社 カネス

〒950-3307 新潟県新潟市北区樋ノ入字向沢 430 番地

電話番号 025-387-3540

FAX 番号 025-386-3268

E-mail info@midorinoshima.co.jp

《長岡支部》

支部長 竹見 正明

新潟県造園建設業協会が発足して三十五年目を迎えられたことにお祝いを申し上げますとともに、今日まで協会の活動に尽力されました歴代の執行部、事務局の皆様のご功績に心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、我々長岡支部は、三十五年間の激動の経済状況の中、様々な栄枯盛衰を繰り返してきたと諸先輩の方々から聞いております。

最近では会員の方々も随分若くなり、当協会の活動にも積極的に取り組む一層の団結力を持ったような気がいたします。これも諸先輩のご指導の賜物だと感謝しております。

最近の活動としては、毎年五月に、「花いっぱいフェア」の庭づくり提案コーナーに参加し、お客様のニーズにあった庭を紹介しています。六月には、剪定の奉仕活動を二十余年にわたって行っております。また、技能検定では、長



岡独自に練習会場を設けて二ヶ月間にわたり受験生を指導しております。

先輩方の残した実績を参考にし、これからは現代社会にあった新しい活動を積極的に取り入れ、技術の習得、情報収集に力を入れ、前向きに努力していこうと思っております。

最後に当協会の益々のご発展を心からご祈念申し上げます。

新しいミニの基準
キャタピラーからCシリーズ新登場！

販売・サービス・レンタルのご用命は…

キャタピラー-中日本 **CAT**



キャタピラー-中日本(株)
新潟本店 新潟市西区山田2307-108
025-266-9171

内・外装用竹材・緑化資材

内山竹材店

〒940-0094 新潟県長岡市中島3丁目11番1号

TEL. (代)0258 (32) 0697

FAX. 0258 (32) 0651

《魚沼支部》

二十五周年

おめでとうございます。

志賀 孝

私共魚沼支部は県内でも最も雪多き地域です。

最近も、豪雪と中越地震という自然災害の大きな体験をし、会員それぞれに被害も発生し、どうかその時を乗り切り頑張っております。

支部活動では、総会を初めとし、役所の挨拶、花祭り参加、臨時総会、役員会、冬期講習会を定例事業とし、二年に一度の研修視察を行っております。

前は、沖繩での植生の違いを、今回は、長野・山梨・群馬と雑木や花を視察いたしました。最近の取組としては、県造協の事業への参加を主に、会員の皆様に積極的参加をお願いしているところです。

魚沼支部が広域的で、交通手段の便が悪く小集会や親睦ができて、くいものと考えて参りましたが、先輩方には、もっと親睦をの、ご

指導を頂いております。

しかしながら集まった時には、仕事についての現況や実作業での問題点、消毒・肥料・雪害対策・高床式住宅の庭等々様々な意見交換をしております。このような「なんでも会議」を年に数回開催することも有意義な活動だと思っております。

同業者だからできること、そして意味あるその時を送る。

景気低迷の折こそ、お互いの情



報、知恵、知識の交換も必要と思いい、このような会議を事業に取り入れ来年度より取組んでまいりたいと思えます。

新保会長のもと、雪国根性で、県造協及び支部の益々の発展のために頑張りたい所存です。

《柏崎支部》

協会設立二十五周年

おめでとうございます。

支部長 小池 久雄

柏崎支部長の役職に就いて三年目になり、また今年度は、県の評議委員会、総務部長という重責を与えられ、大変恐縮しております。しかし、役職に就いた限りは皆様の御力添えを戴きながら、尽力を尽くす所存であります。

私は、「佐渡竹切ツアー」「一日造園大学」「研修視察」に参加して、各支部の皆様との交流は、個人では決して得ることのできない貴重な経験となりました。特に「佐渡竹切ツアー」に参加して、「地産

園芸資材 石灯籠、丸太材各種、竹材、肥料 等

にいがた南蒲農業協同組合
保内緑花木センター

〒955-0021 三条市大字下保内1200-3

TEL (0256) 38-8184 FAX (0256) 38-2495

地消」について考えるようになり
ました。昔のように地元産の良質
の資材を使って庭園を造ることが
出来るように、これからも参加し
たいと思いました。

また、忘れてはならないのが、
度重なるふたつの大地震です。特
に中越沖地震に際しては、私も被
災者となり、大変な思いをしまし
た。しかし、皆様のあたたかいご
支援を承り、互いに協力し合うこ
とで、頑張つて行かれる様になり
ました。

今年には三十五周年の記念式典が
あります。皆様と協力して式典が
成功するように、頑張つていき
たいと思います。

これからも、宜しく願ひし
ます。

協会設立三十五周年

おめでとうございます。

情報編集委員 小林 紀昭

協会設立、三十五周年おめでと
うございます。これもひとえに諸
先輩方のご協力の賜物と深く感謝

申し上げるしだいあります。

さて、当柏崎支部は、四年前の
中越大震災、さらに昨年の中越沖
地震という大災害に数年の内に二
回も見舞われ、現在復興に向けて
がんばっているところであります。

この震災により多くのものが失わ
れました。柏崎の先人達が作り上
げた喬柏園の石積みを初めとし多
くの庭が解体されました。しかし、
多くの人に助けられ、現在は普通
の生活ができる状態にまでなりま
した。ここまでこれましたことを、
この場を借りましてご支援くださ
いました皆様方に対し厚く感謝申
し上げます。本当に有り難うござ
いました。

現在この柏崎地域では住宅の解
体、石堀の撤去等を初めとし、道
路等を含む公共施設の復元工事が
行われています。造園業者もそれ
に伴う作業で、忙しく動いてはい
ませんが、今後のことを考えると、
余り良い方向は見えてきません。
しかし、今後を見据え新しいこと
にチャレンジしながら頑張るしか
ありません。今後は今回の災害を



踏まえ、災害に強い環境（庭等）
作りや、リサイクルしやすい素材
の活用などを考え新しい視点から
の庭作り等を考えていく必要があ
るのではないかと思います。今後
も協会の皆様方よりご指導をいた
だきながらよりよい地域づくりの
ために活動してまいりたいと思っ
ていますので、今後とも寄り一層
ご指導のほど、よろしくお願い申
し上げます。



株式会社コンゴグリーン

・造園業 新潟県(般-20)第42936号 ・緑の安全推進協会

営業内容

肥料・農薬・緑化資材・種子販売

請負作業

(雑草・病害虫・松くい虫防除)芝管理業務・造園緑化維持管理

新潟市東区竹尾卸新町752番地1(新潟卸団地内)

郵便宛名 〒950-0867 新潟卸団地局 私書箱第98号

電話 025-275-8146 FAX 025-272-8224

《上越支部》

支部長 伊藤 與一

新潟県造園建設業協会は、設立三十五周年を迎えることは、協会の歴代役員の方々と事務局の皆様の日毎の御苦労のお陰です。心より感謝とお礼を申し上げます。さて上越支部の会員数は、現在二十三社で、五年前の二十七社と比べて四社減となっています。減少した理由は、後継者がいないための廃業が原因です。上越支部では、一月の新年総会を、行っています。



平成17年3月1日～3日 玉造温泉



平成17年3月1日～3日 足立美術館

総会では、事業計画と役員改選、研修旅行の打ち合わせなどを行っています。今年は、二年に一回の研修旅行の年でしたが、なかなか人数が集まらなく、今年はとりやめになりました。あとは、二ヶ月に一度程度の月例会が行われています。月例会では、県造園協会の報告などをおこなっています。組合員の若手の親睦を図るために、上越支部・青年部があります。青年部では、ボーリング大会など、おこなっています。また、青年部の先輩方を講師として地元で技能

検定の講習会を二回ほどおこなっています。検定受検者にとつては、力強い講習会だとおもっています。今後も皆様と新潟県造園建設業協会の発展を心から祈念申し上げます。

《佐渡支部》

支部長 松木 博明

以前、「佐渡は居良いか、住み良いか」

おけさの一節にもありますが、今の佐渡ヶ島はその真逆といつてもいいくらいに観光客の激減、公共工事の減少、追討ちをかけるかのようなガソリン等の高騰でいささか住みにくい島となっています。

その中で一筋の光となるもの、それがこの秋自然放鳥される「トキ」であると思います。「トキ」のもので佐渡島民の生活が良くなると思いませんが、今の我々が忘れかけている「トキ」との共存、布いては自然と人との共存がこれからの佐渡ヶ島の進む道として生き残る道だと思っています。

造園・庭石・庭木・盆栽

伊藤造園

伊藤 與一

新潟県上越市西松野木971-1
TEL・FAX 025-525-3609



我々佐渡支部は「人と自然に優しい時給自活の島」をテーマに、昨年度より外来種の佐渡への輸入防止のため佐渡全島の植生調査を行うと共に巨木・貴重樹の現状及び維持管理方法や使用薬剤の減量化の検討を始めたところです。

なかでも、佐渡特産であった「竹」の利用方法にこそ佐渡の時給自活があるのではないかと考えています。

過去三年に渡り新潟の組合員のご協力により行った「佐渡竹藪応援隊」で得た経験から、佐渡の竹

を島民皆が愛しそして利用（建材や工芸品や佐渡島外への輸出品等）することが、野ざらしになった竹藪や里山の整備に繋がり、さらには自然を守ることが佐渡ヶ島を守り以前のような住みよい島に繋がるの思いで、我々佐渡支部は今後も活動を進めて行きたいと思っています。

「佐渡ヶ島は竹の島」については「自然と共存・共栄できる島」と言われる日まで

と言われる日まで



編集後記

新潟県造園建設協会の設立三十五周年おめでとうございます。

「三十五年のあゆみ」の作成に当たり、各支部の情報編集委員と支部長の皆様には記事の掲載及び広告の募集など様々なお願いをして参りました。ここに無事「三十五周年のあゆみ」を発行できました。本当にありがとうございます。大勢の方々に支えられ協会運営ができている事に改めて気が付きました。

今後も皆様方に御協力、ご指導をお願いして協会が会員の皆様のご期待に答えられるような運営をしていく一端を担って行きたいと思っています。

情報編集委員会